

# 2013年度 第2四半期 決算説明会

— 2013年1月～6月 —

2013年8月1日

株式会社 **シーアイシー**



# I .2013年度第2四半期決算概況



# 連結決算概要

単位:百万円

## 第2四半期累計期間

	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	前年度比		期初 予想	予想比 差額
			増減額	増減率		
売上高	<b>19,428</b>	<b>20,585</b>	<b>1,156</b>	<b>6.0%</b>	<b>19,500</b>	<b>1,085</b>
売上総利益	<b>4,188</b>	<b>4,222</b>	<b>34</b>	<b>0.8%</b>	—	—
(売上総利益率)	<b>21.6%</b>	<b>20.5%</b>				
営業利益	<b>1,365</b>	<b>1,347</b>	<b>▲ 18</b>	<b>▲ 1.4%</b>	<b>1,370</b>	<b>▲ 22</b>
(営業利益率)	<b>7.0%</b>	<b>6.5%</b>			<b>7.0%</b>	
経常利益	<b>1,448</b>	<b>1,453</b>	<b>5</b>	<b>0.4%</b>	<b>1,470</b>	<b>▲ 16</b>
(経常利益率)	<b>7.5%</b>	<b>7.1%</b>			<b>7.5%</b>	
当期純利益	<b>180</b>	<b>780</b>	<b>599</b>	<b>332.6%</b>	<b>720</b>	<b>60</b>
(当期純利益率)	<b>0.9%</b>	<b>3.8%</b>			<b>3.7%</b>	

# 2013年度第2四半期 決算のポイント

## 【売上高】

ITサービスは市場構造の変革を受け、苦戦

- システム構築は好調分野が少なく、減収
- システム運用管理は増収だが、一時的要因が影響

BPO/BTOは医薬品開発支援の拡大が続き、増収

## 【利益】

BPO/BTOの利益寄与がさらに拡大

# サービス別売上高と総利益(連結)

単位:百万円

## 売上高

	2012年度2Q		2013年度2Q		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
構築	7,618	39.2%	7,039	34.2%	▲ 579	▲ 7.6%
運用管理	7,592	39.1%	8,349	40.6%	757	+10.0%
BPO/BTO	4,217	21.7%	5,195	25.2%	978	+23.2%
合計	19,428	100.0%	20,585	100.0%	1,156	+6.0%

## 売上総利益

	2012年度2Q		2013年度2Q		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
構築	1,679	22.1%	1,235	17.6%	▲ 444	▲ 26.5%
運用管理	1,416	18.7%	1,399	16.8%	▲ 17	▲ 1.2%
BPO/BTO	1,092	25.9%	1,588	30.6%	496	+45.4%
合計	4,188	21.6%	4,222	20.5%	34	+0.8%

# 業種別売上高(連結)

単位:百万円

(百万円)	2012年度2Q		2013年度2Q		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	<b>1,929</b>	9.9%	<b>2,436</b>	11.8%	507	+26.3%
信託	<b>2,510</b>	12.9%	<b>2,001</b>	9.7%	▲ 509	▲ 20.3%
医薬	<b>6,711</b>	34.6%	<b>7,540</b>	36.6%	829	+12.4%
食品	<b>2,090</b>	10.8%	<b>2,037</b>	9.9%	▲ 52	▲ 2.5%
製造	<b>1,326</b>	6.8%	<b>1,113</b>	5.4%	▲ 213	▲ 16.1%
サービス他	<b>4,860</b>	25.0%	<b>5,454</b>	26.6%	594	+12.2%
合計	<b>19,428</b>	100.0%	<b>20,585</b>	100.0%	1,156	+6.0%

# 受注・受注残の状況(連結)

単位:百万円

	2012年度2Q	2013年度2Q	受注高増減	
	受注高	受注高	金額	増減率
構 築	7,868	6,692	▲ 1,176	▲ 15.0%
運用管理	8,571	8,514	▲ 56	▲ 0.7%
BPO・BTO	3,670	4,868	1,197	32.6%
金融	2,000	2,320	320	16.0%
信託	2,555	1,708	▲ 846	▲ 33.1%
医薬	6,569	7,245	676	10.3%
食品	2,456	2,253	▲ 203	▲ 8.3%
製造	1,363	951	▲ 412	▲ 30.2%
サービス他	5,165	5,595	430	8.3%
合 計	20,110	20,074	▲ 35	▲ 0.2%
受注残高	14,996	14,206	▲ 789	▲ 5.3%



## **II. 2013年度 通期見通し**





# 2013年度通期予想(連結)

単位:百万円

	2013年度		
	上期実績	進捗率	通期予想
売上高	<b>20,585</b>	<b>51.5%</b>	<b>40,000</b>
営業利益	<b>1,347</b>	<b>48.1%</b>	<b>2,800</b>
(対売上比)	<b>6.5%</b>		<b>7.0%</b>
経常利益	<b>1,453</b>	<b>50.1%</b>	<b>2,900</b>
(対売上比)	<b>7.1%</b>		<b>7.3%</b>
当期純利益	<b>780</b>	<b>52.0%</b>	<b>1,500</b>
(対売上比)	<b>3.8%</b>		<b>3.8%</b>

## 通期予想達成に向けた足元の状況

- システム構築は2Qを底に復調見込むが、3Q、4Qも苦戦が続く
- システム運用管理はクラウド時代のIT基盤サービス（IaaS、Office365、仮想デスクトップ）の受注拡大を狙うも、従来型は苦戦
- 医薬品開発支援は提携先との協業などにより案件増加、堅調維持を見込む



## **III. 中期的課題への取組み**



## ITサービス市場の構造変化が加速

- ▶ 既存分野の価格低下圧力は常態化
- ▶ 発注を大手ベンダーに集約する動き
- ▶ IT投資のグローバル化が進展

## 医薬品開発支援に持続的成長余地

- ▶ 製薬会社のアウトソーシング志向が背景
- ▶ 新サービス提案による領域拡大にも可能性

## 中期的課題への取組み

<b>特化分野の 先鋭化</b>	<b>CACエクシケアの事業領域の拡張 年金総合研究所との連携推進</b>
<b>海外サポート 力の拡大</b>	<b>医薬品開発支援分野での提携/M&amp;A推進 提携先への国内IT案件の委託が軌道に</b>
<b>新事業領域 の強化</b>	<b>新領域サービス(クラウド系など)の強化 外部企業との相互補完の積極化</b>
<b>知識集約型 企業へ</b>	<b>開発、運用の国際標準モデル採用 開発プラットフォーム(AZAREA)の利用拡大</b>



【お問合せ】

株式会社シーエーシー

広報IRグループ

TEL:03-6667-8010

<ホームページ>

<http://www.cac.co.jp/>